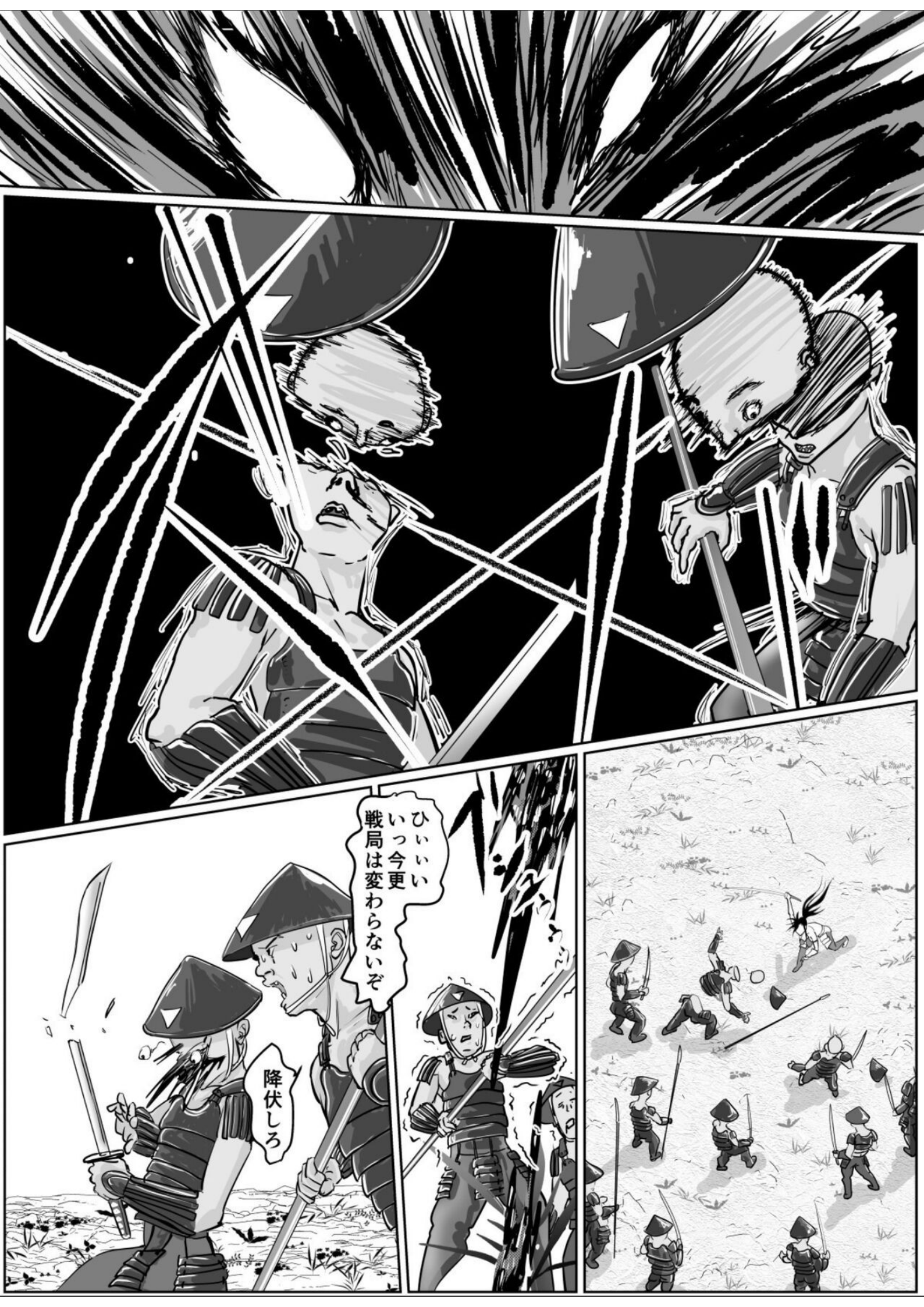
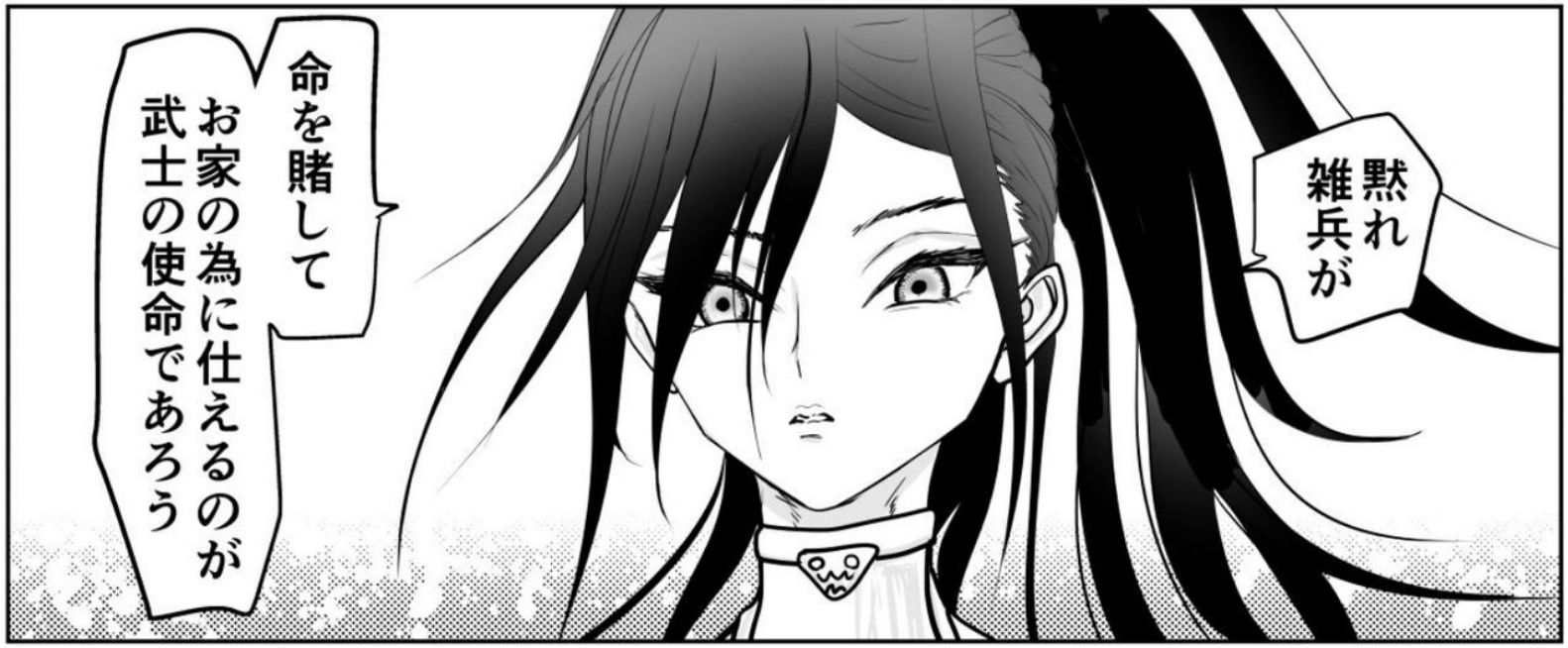
女侍が雑魚に負けました

ぐらむも部

うお
何だ?!
女?
コイツ
もしや噂の
コイツが
鬼侍?!
小娘じゃ
ええい
コイツさえ
居なければ
バッ


ひいいい
いっ今更
戦局は変わらないぞ
降伏しろ

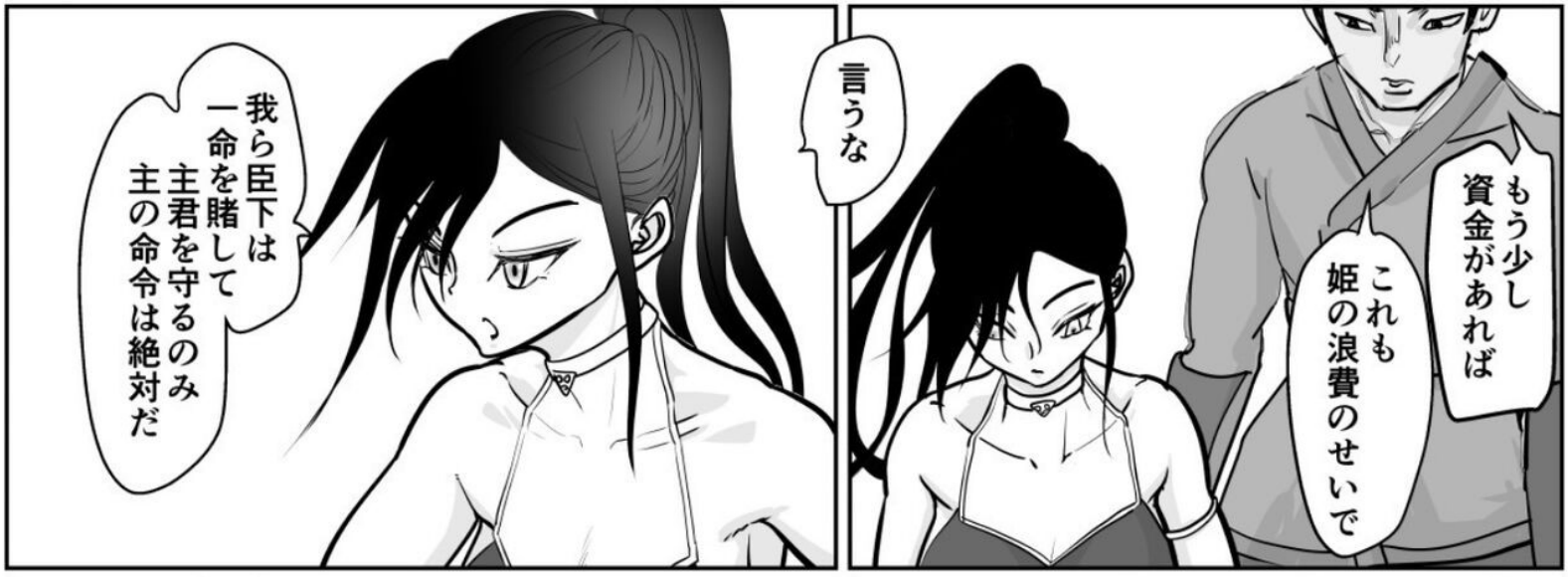

黙れ雑兵が
命を賭してお家の為に仕えるのが武士の使命であろう

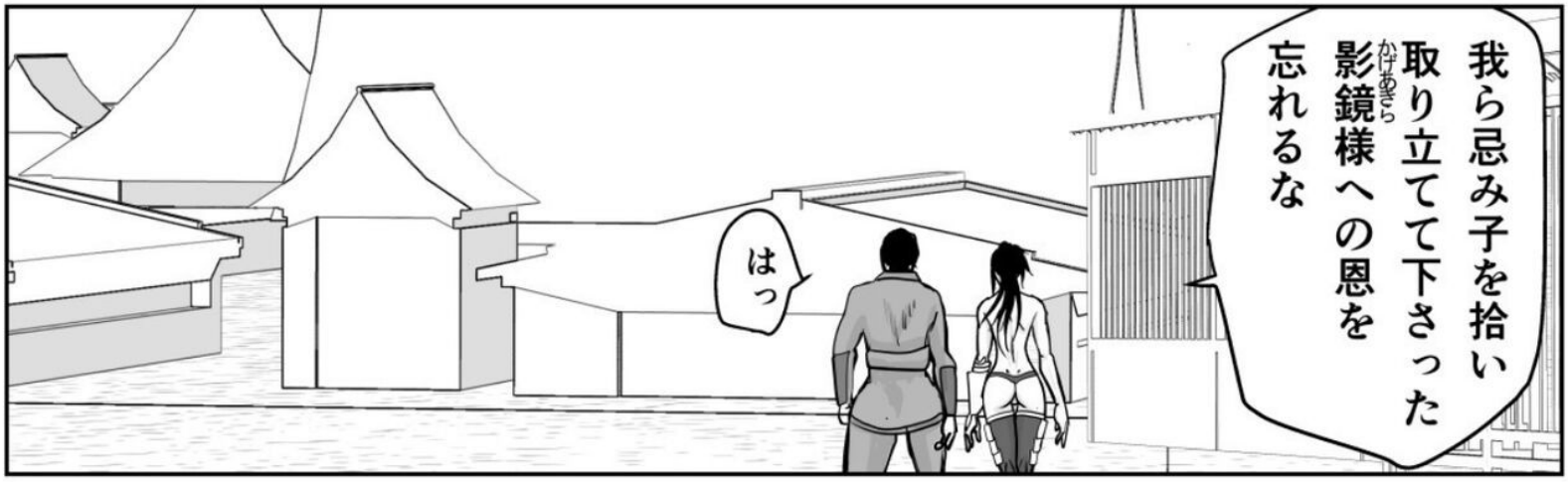
お前らも
その覚悟であろう？

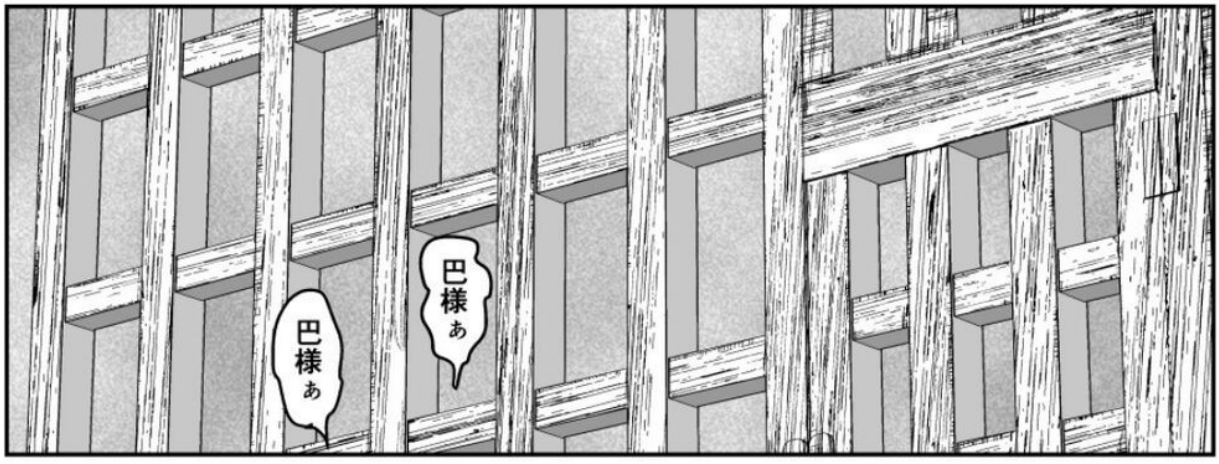
いやぁ凄まじい勢いじゃった
うむ天晴じゃった

今日も巴様は大活躍じゃった
連戦なのに流石じゃ
見ろ巴様じゃ
美しいのぉ
あの青い瞳で睨まれたらひとたまりもない
いい女あれでまだ1●才だぞ
やはり異人の血が入っていると違うのぉ
皆一回は自慰しとるわい
エロい恰好じゃ
巴様報告がございます
ゴッ
後方支援部隊から逃亡者が
ふん後を絶たんな皆戦っていたというのに
数人投獄しておりますがどうなさいますか？
人手不足じゃ夜警でもやらせる
今後の為に規律を叩き込んでやる
国への忠節はないのか
忠義とは自己犠牲であろうに

浮浪者の寄せ集めですので
兵士不足で
ふん 怠惰な性根が身に現れておるわ
訓練も出来んから後方支援部隊なのにそれを逃げ出すとは


もう少し資金があれば
これも姫の浪費のせいで
言うな
我ら臣下は一命を賭して主君を守るのみ主の命令は絶対だ


我ら忌み子を拾い取り立てて下さった影鏡(かげあきら)様への恩を忘れるな
はっ


巴様ぁ
巴様ぁ

イグッ
クッン
じ
ぴゅる
うひー
キモチー
巴様ネタ
サイコー
出たわ～
むく
ビク
あ
ひぃ
巴

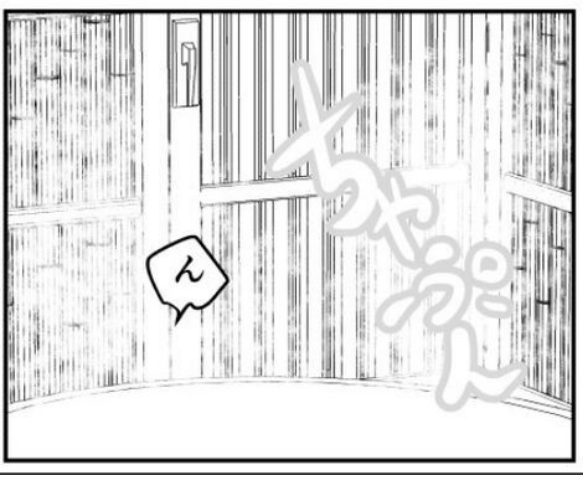
此度の戦
どう見る？
畏れながら
危うい際に
立たされているかと
考えまする
そうか
しかしながら
堅牢なる城ゆえ
そう容易く墜ちる事は
ありません
援軍が到着するまで
持ち堪えることは
可能かと
巴
儂に大事が
あれば
姫の事は頼んだぞ
何を
弱気な
我ら家臣命を
賭して

ポン
ふ
相変わらず
堅苦しい奴め

頼んだぞ
はい…
天地神明に
誓って
ぐっ

風呂でも入って
よく休め
はい

交代だ
あれ
アイツは？
ほっとけ
寝よ寝よ
巴様～
イグッ

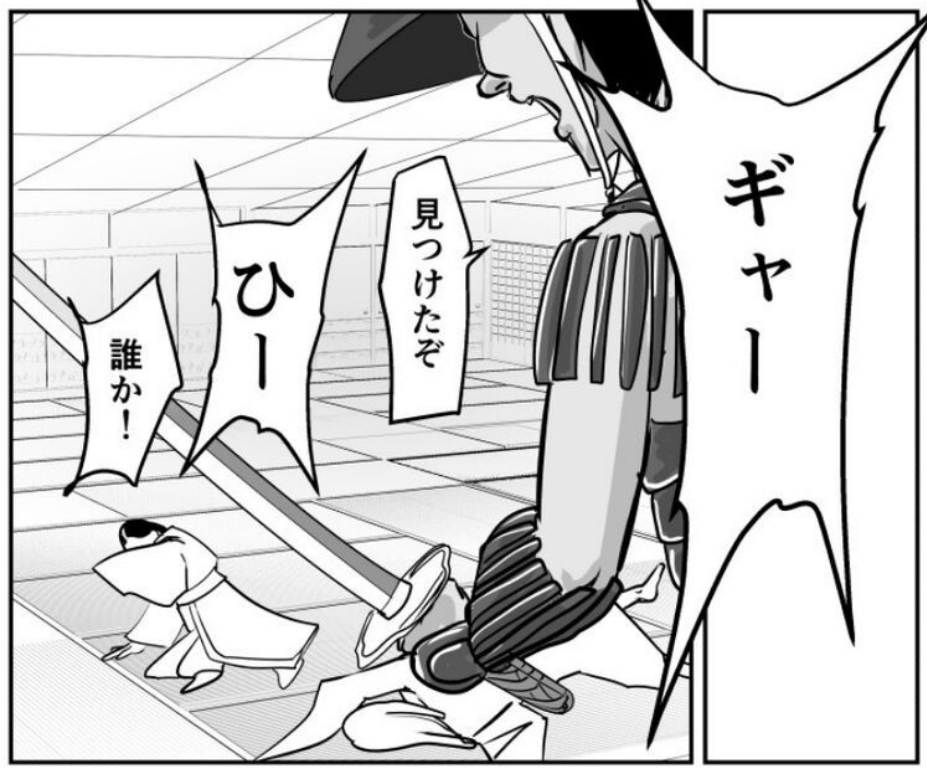

ん

どうにか
援軍が来るまでは
…
ん…
ちゃぷ
影鏡様（かげあきら）
うっ
わらわは
パチ
巴様っ
パチ
パチ
はっ

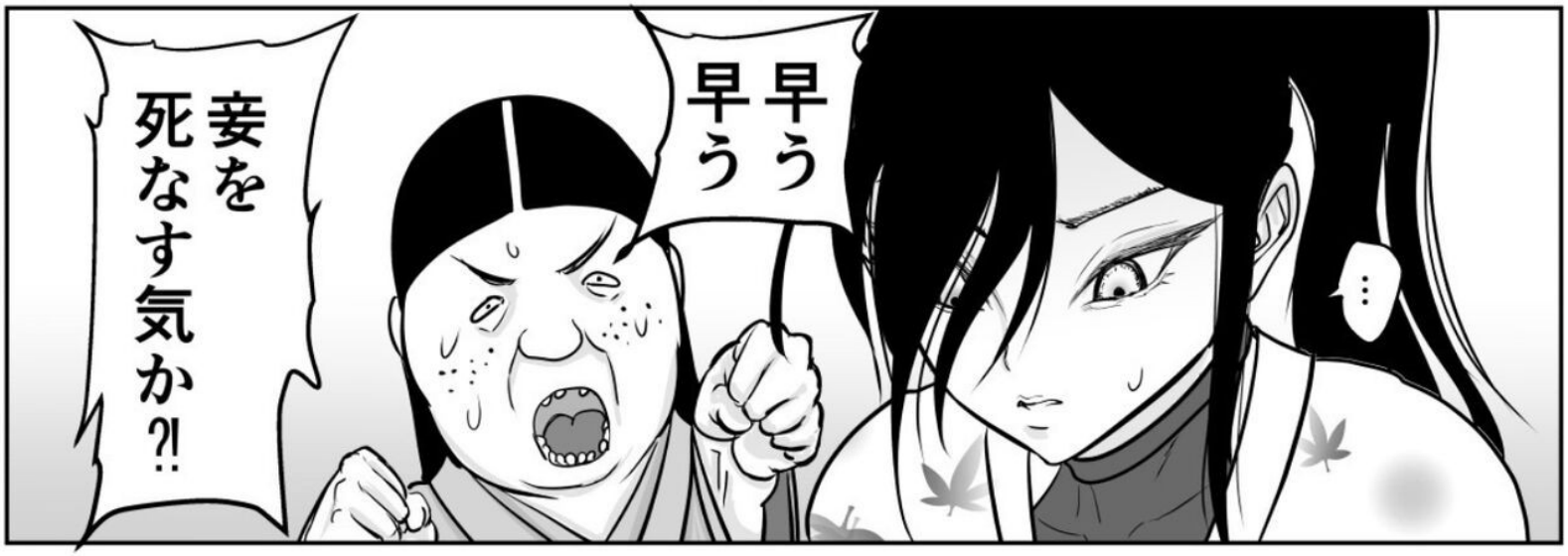
何事じゃ
バッ
敵襲です
既に城内に
な、何故こうも容易く
バチバチ

それが城門が開いていたようで
何ッ
造反者か
おっ

本殿は?!
それが


ギャー
見つけたぞ
ひー
誰か!

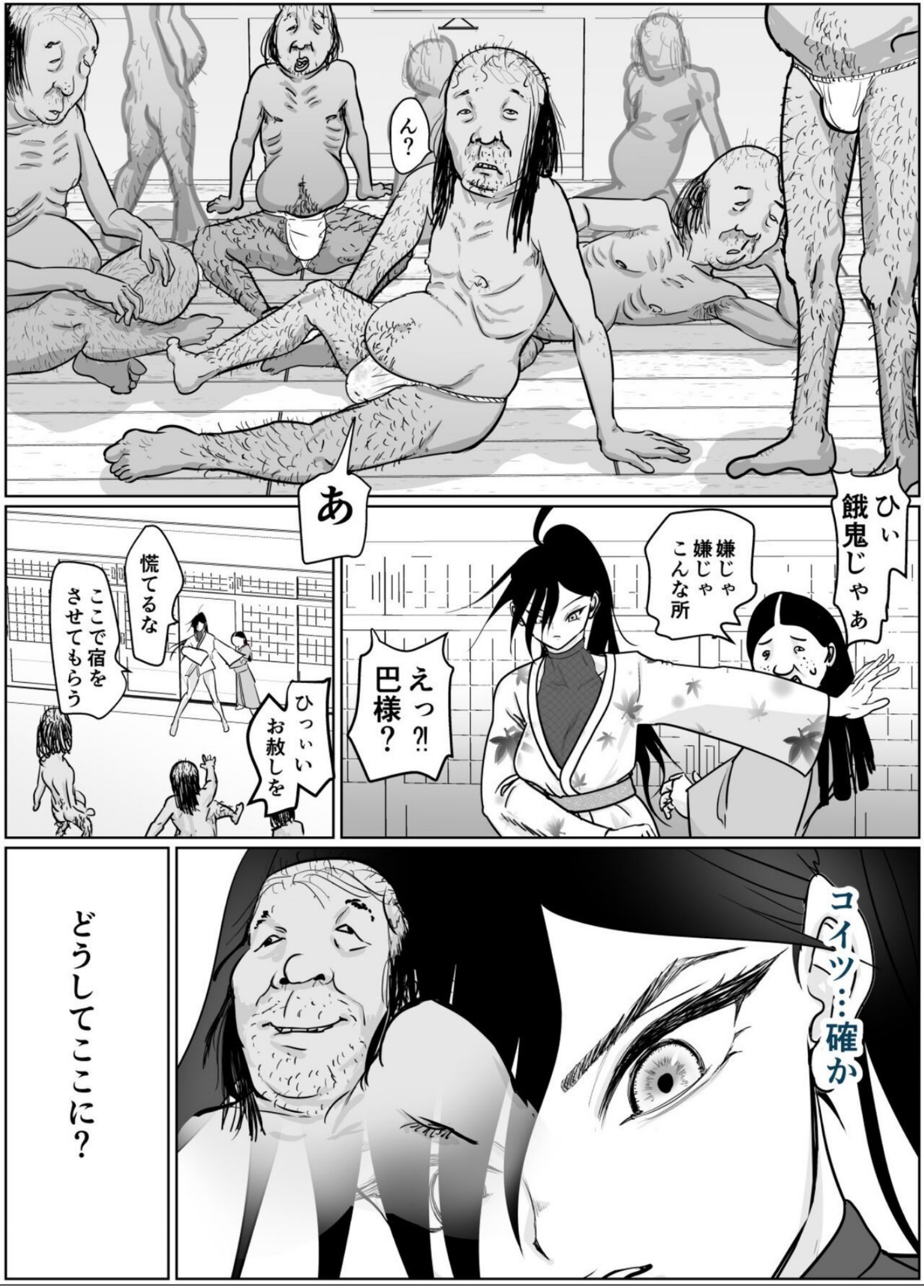
ひぃ
ひぃい
血じゃぁあ
嫌じゃあ
血は嫌じゃあ
嫌ぁ
しこ姫
お気を確かに
上様は
何処で
ございますか？
知らん
知らん
ええい
来るのが
遅いぞい
早く
連れていけ
くそ
早く捜しに
いかねば
巴様
早う
早う
上様なら
きっと無事
ここは姫の
安全だけでも
どのみち
二手に
分かれるのは
危険



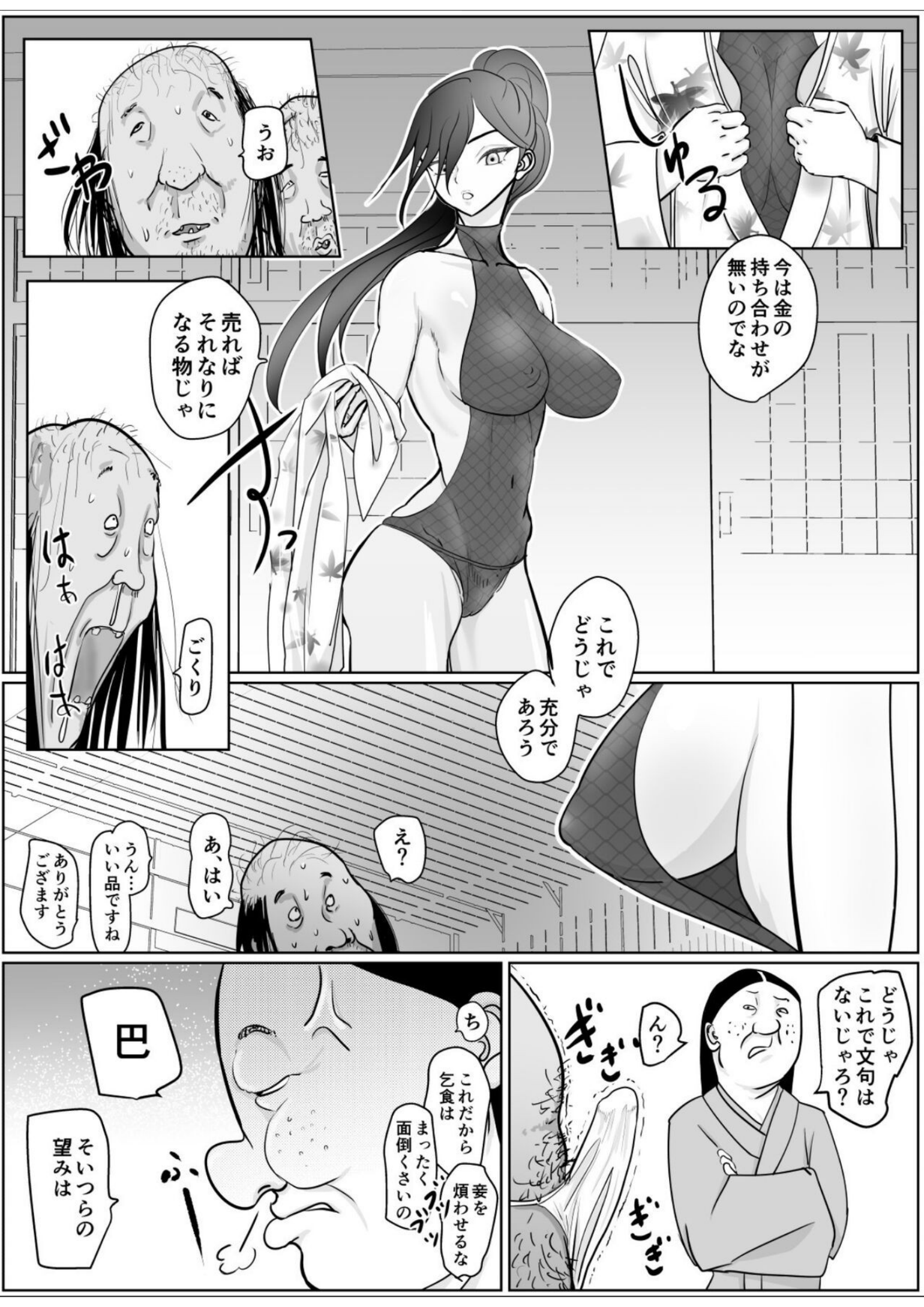
影鏡(かげあきら)様
どうか
ご無事で

…
これより
どうするのじゃ？
ええい
虫じゃ
気色悪い
…援軍先まで
行きましょう
五日ほどで
出会うかと
何っ?!
五日も?!
はぁ?!
無理無理
無理無理
妾を
殺す気か！
何とかせぇ！
籠を
用意せぇ
籠は
無理でございます
街道は
敵が見張っているでしょう
このまま山を渡るのです
はぁ?!
キサマ
正気かえ?!
宿は
どうするのじゃ？
ええい
キサマが
しっかりせぬから
こうなったのじゃ
ええい
虫じゃ
どうにかせぇ
ぽつ
ぽつ

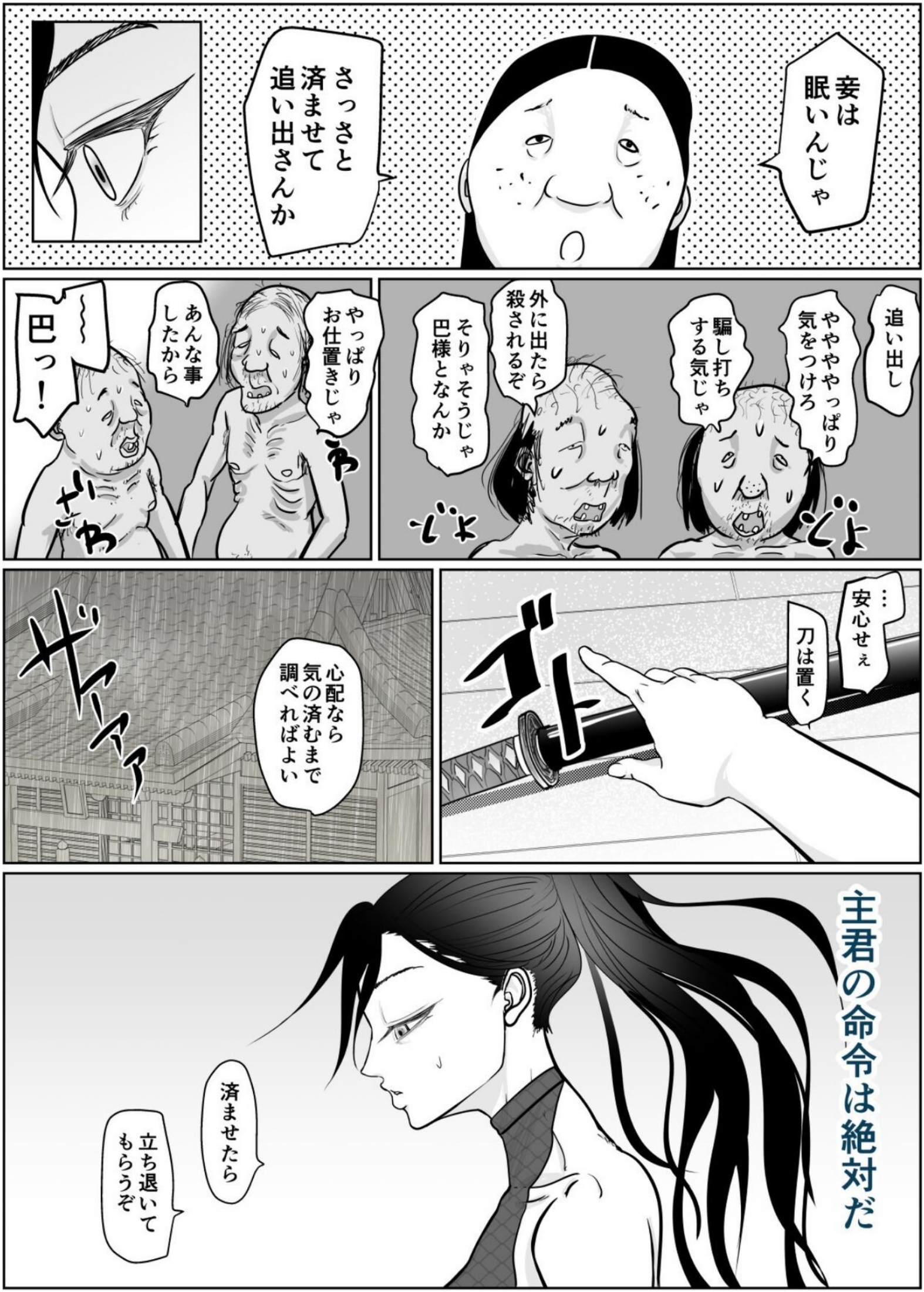
ザアアアアア
ひっい
雨じゃ
これでは
風邪を
ひいてしまう
どうにかせぇ
！
眠い眠い
眠い
何とかせぇ
しと姫
あれを
廃堂です
おお
早う
早う
ィィィィィ


ん？
あ
ひぃ
餓鬼じゃぁ
嫌じゃ
嫌じゃ
こんな所
えっ?!
巴様？
ひっぃぃ
お赦しを
慌てるな
ここで宿を
させてもらう
コイツ…確か
どうしてここに？

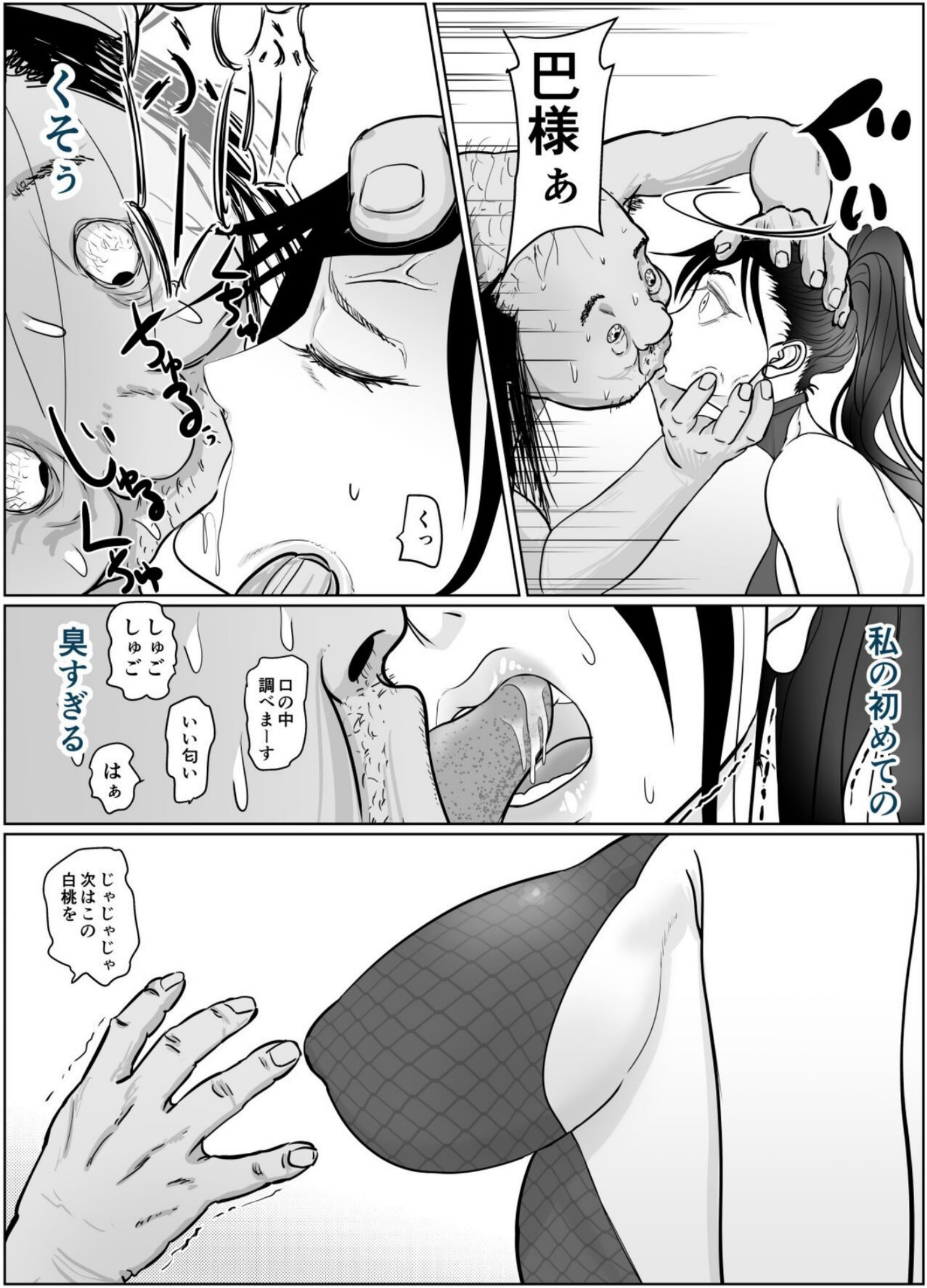
こんなバケモノと居られるか
臭くてかなわんさっさと失せろ
え?!
そんなぁ
しと姫こやつ等我々を知っています密告されるかも
なら殺せ
しかし血の臭いがしては捜索隊にバレてしまいます
ええいそれではどうするのじゃ
下賤な者は馬鹿で単純でございます
キサマ
ここは姫が宿として使う
ひぃ
無論、タダとは言わぬ金目の物を場所代としてくれてやる
え?
それでよいな?
はっはい~


しゅる
今は金の持ち合わせが無いのでな
うお
ぎーや
売ればそれなりになる物じゃ
はぁはぁ
ごくり
これでどうじゃ充分であろう
え？
あ、はい
うん…いい品ですね
ありがとうございます
どうじゃこれで文句はないじゃろ？
ん？
ぎぎ
ぎぎ
ち
これだから乞食は
まったく面倒くさいの
妾を煩わせるな
ブッブッブッ
ぶー
巴
そいつらの望みは

交尾じゃ
相手してやれ
えっ?!
今なんて
本当ですか
構わんと言うとろうが
マジで
え巴様と?
その方らその服で充分であろう早々にココを立ち去るがよい
何でもええんじゃ
スッ

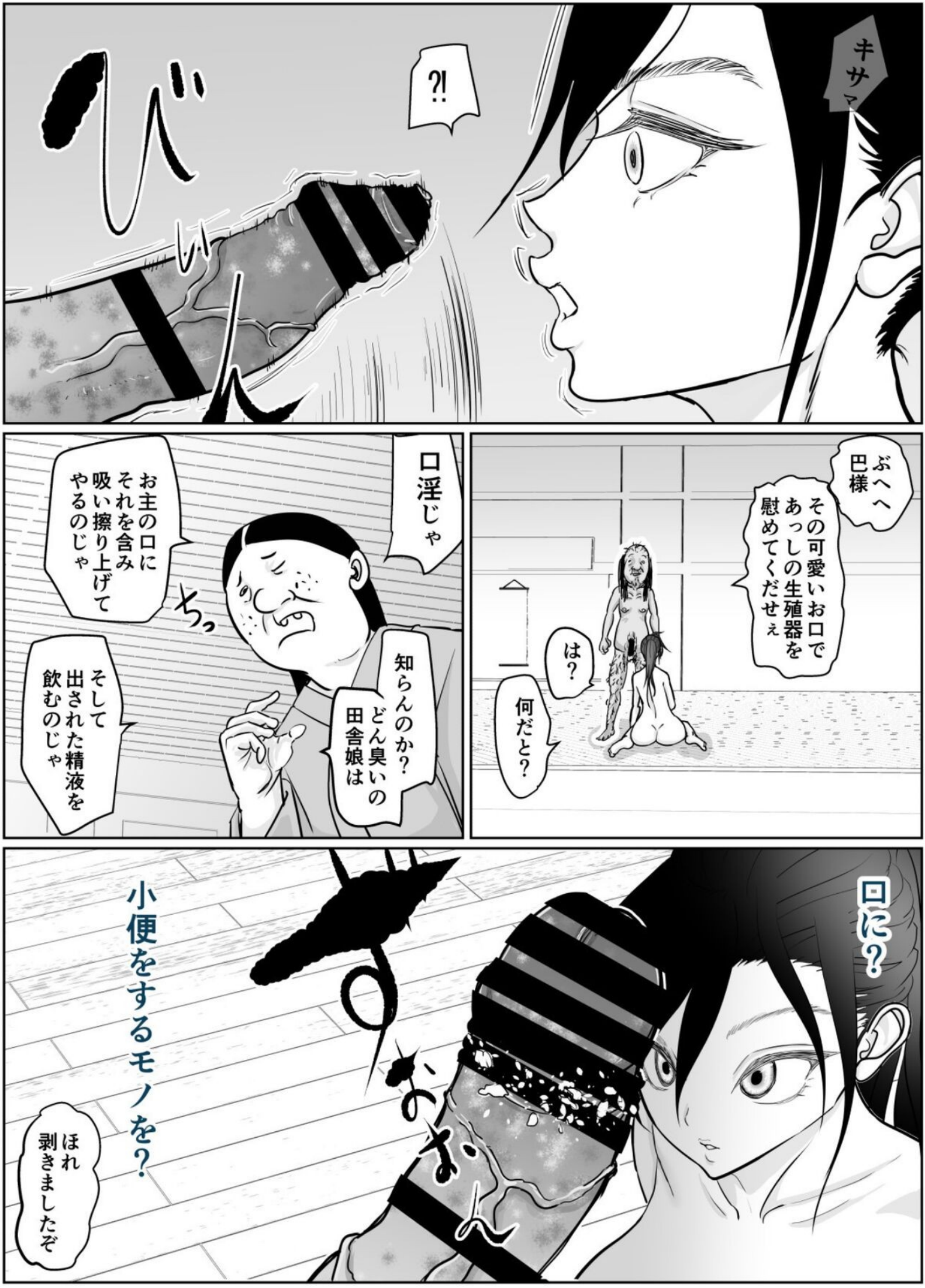

妾は眠いんじゃ
さっさと済ませて追い出さんか
追い出し
ややややっぱり気をつけろ
騙し打ちする気じゃ
外に出たら殺されるぞ
そりゃそうじゃ巴様となんか
やっぱりお仕置きじゃ
あんな事したから
巴っ！
…安心せぇ
刀は置く
心配なら気の済むまで調べればよい
主君の命令は絶対だ
済ませたら
立ち退いてもらうぞ

げひひ
本当ですかい
出ていきやす
でていきやす
じゃじゃじゃ
調べさせて
もらいやすよ?
武士に
二言はな…
こんな
卑怯で臆病者の乞食に
は?
ん〜
ん〜
ぴょこ
ぴょこ
う〜
巴様は
背がお高いので
届きませんなぁ
ぴょこ
接吻
したいのに〜
ぴょこ
ち
ん〜
すっ
これで…
どうじゃ


巴様ぁ
くっ
くそう
くちゅくちゅっ
じゃるるっ
じゃるるっ
私の初めての
口の中調べまーす
しゅごしゅご
いい匂い
はぁ
臭すぎる
じゃじゃじゃ次はこの白桃を

一騎当千と言われたわらわがこんなカスに
はぁ～コレおいしそうコレおいしそう
これ邪魔になんないんすか？
うわ
しっとり柔らか
こんな重いのぶら下げて
ずっしり溢れてる～
あ～こぼれるこぼれる
出たぁ
ぷるん
くっ
ぐぐ～～～
あー出る出る
出ちゃいますよ～
ふえぇ柔らかぁ
コレです！コレです！
はは
いつもムラムラしてたんです～
もにゅう
もにゅう
もちぃ

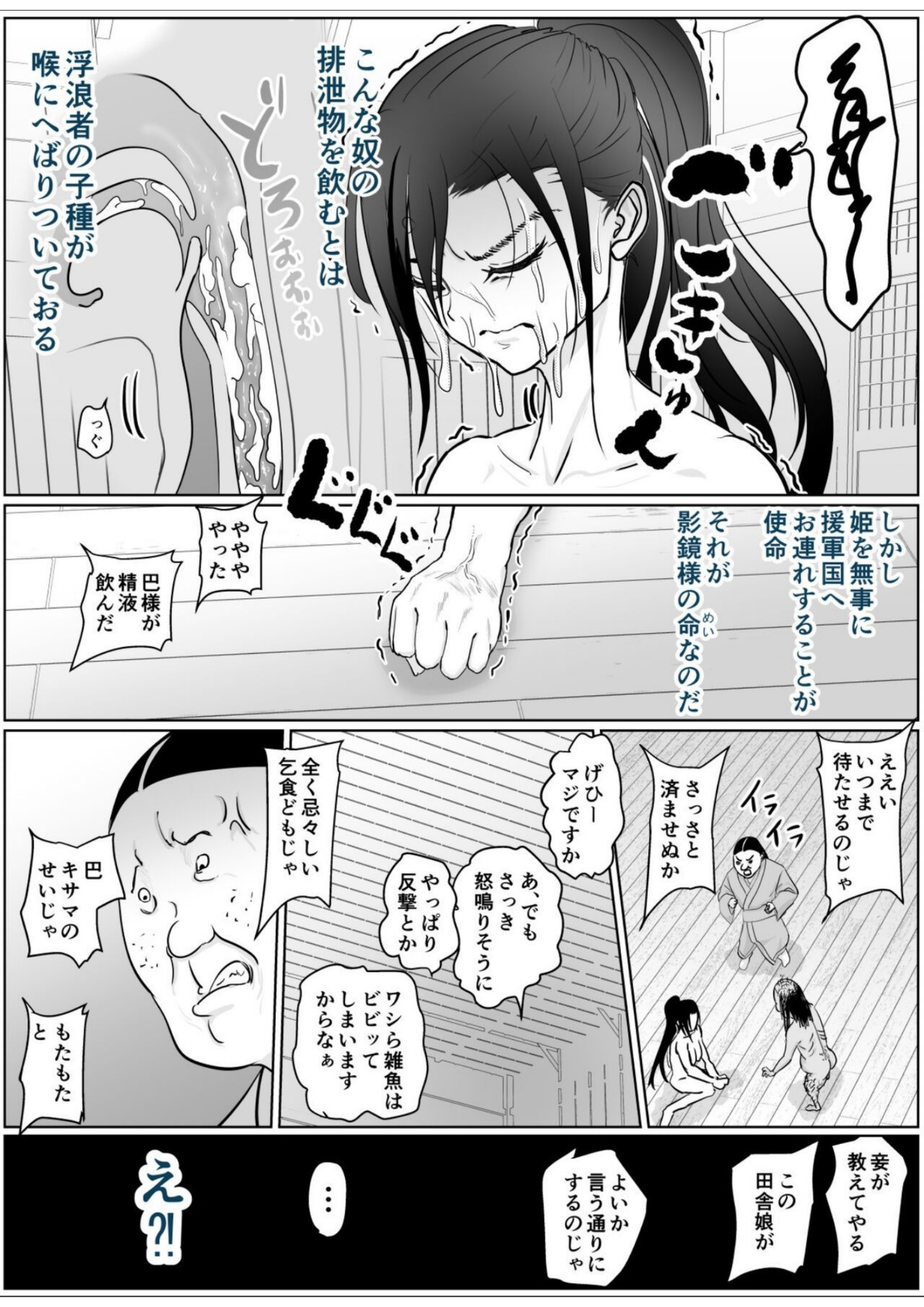
舐めちゃう
舐めちゃうよ～
れ～
ちゅぷ
あむ
気色悪い
ん～～
くりくり
ん～～
おいち～
ちゅう
ん～～
ちゅう
おいち～
よ～
げひひ
立った
鬼侍様も
弱い所
あるんですなぁ
ぐぐ
でしし
キサ

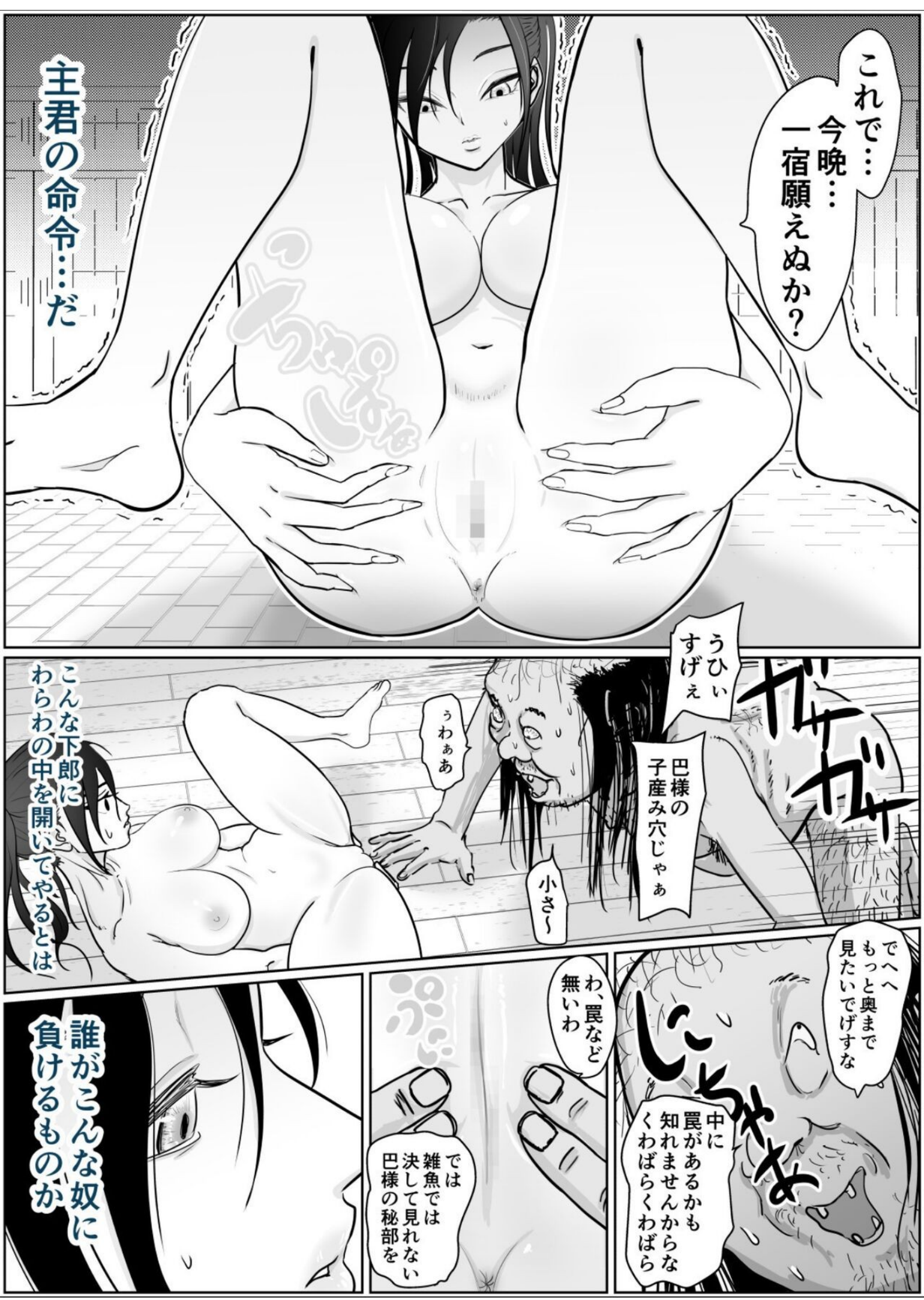

キサマ
?!
ぶへへ
巴様
その可愛いお口で
あっしの生殖器を
慰めてくだせぇ
は?
何だと?
口淫じゃ
お主の口に
それを含み
吸い擦り上げて
やるのじゃ
ちっ
知らんのか?
どん臭いの
田舎娘は
そして
出された精液を
飲むのじゃ
口に?
小便をするモノを?
ほれ
剥きましたぞ

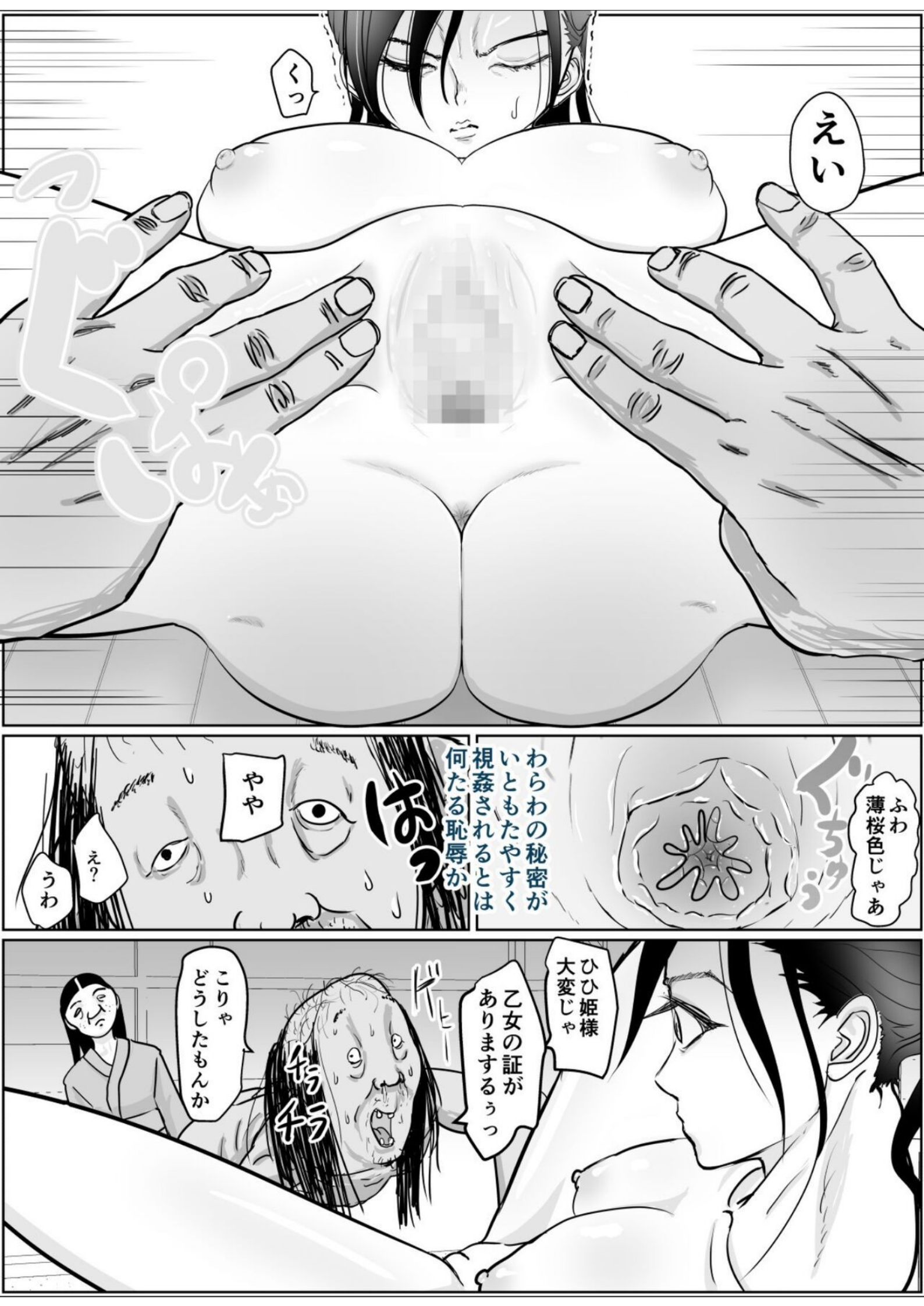
垢が溜まって…
ぅーうん
こんな戦場から
逃げ出すような
卑怯者のちんぽを
はは〜
ホント？
あぁあ
巴しゃまぁ
跪いて奉仕するとは
うっ
おぞま〜
ビクッ
うひぃ
ちゅぅ
巴様が
手ぇついて
ちんぽに接吻したぁ
屈辱
あぁ

神聖な行為を
こんな奴の為に
こんな奴に見られながら
小便棒咥えるとは
あぁああ
凄い
チン先くりくり
しゅごい〜
巴様に
尿道チロチロ
して頂けるなんて
光栄ですぅ
ちゅぱちゅぱ
あぁ
最強の巴様が
ちんぽ咥えたぁ
こんな物
野良犬でも口に含まんわ
顔が下品に
伸びてますよぉ
やったぁ
やったぁ
ぱっ
おぐ
あ、ああ
ヤバぁぁひぃ
ぞぞぞ
…では…
わらわは野良犬以下か…
あ
あ〜
ちゅ
くちゅ
あぁああ
刺激が
強すぎまする

うぐ…!臭すぎる
あの恥垢
残らず口の中に
剥がれ落ちたのか
あ
あ
あ
あ
ガクガク
ビクビク
イグっ
おごっ
?!
っっ
ろろろ
うげぇ…子種汁か?!
なんと生臭い
ぽっ
小便をかけられるが如き
屈辱っ
あぁ
出ちゃった
じょろおお

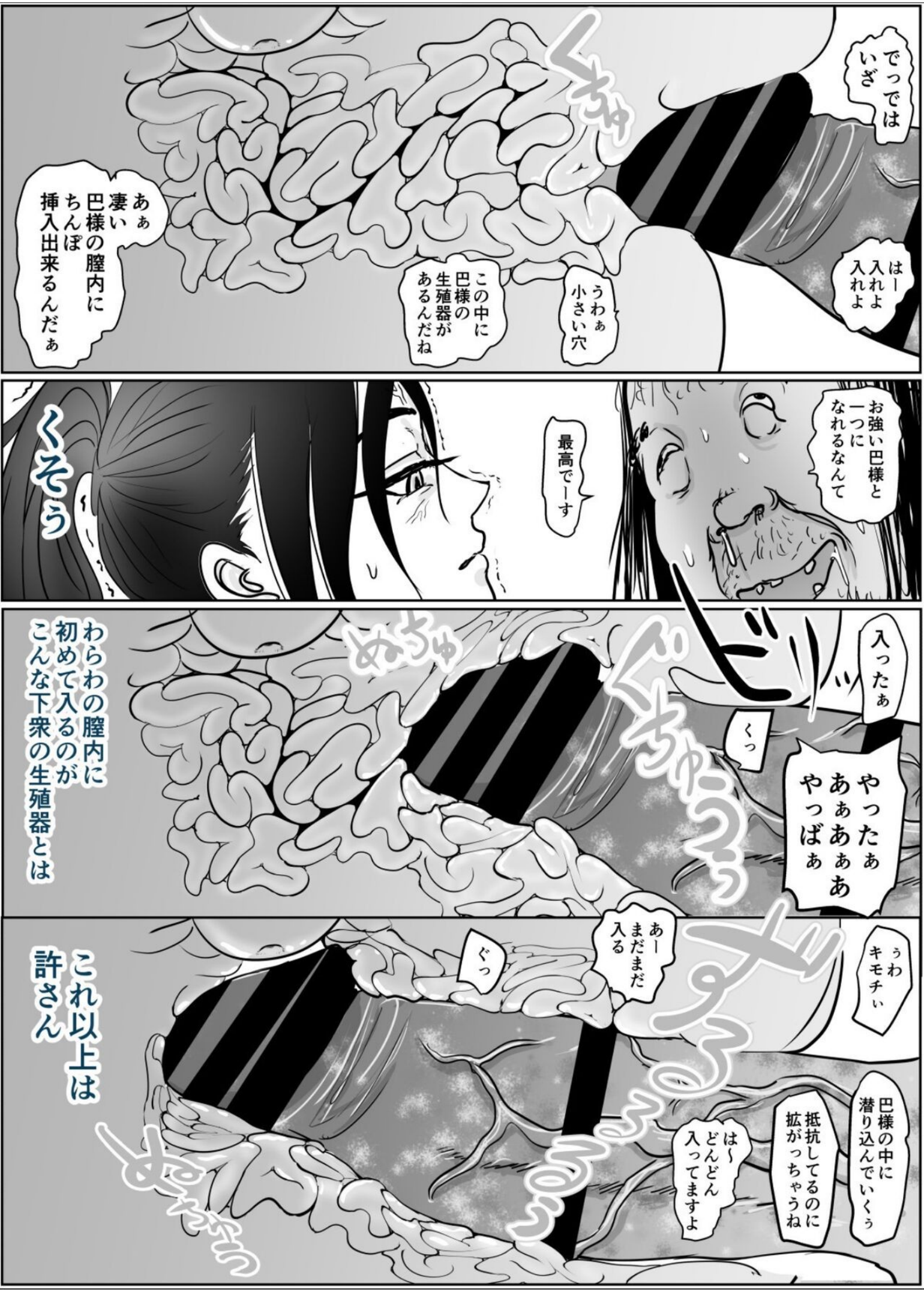

喜べ
ごまちゃん
どろおおお
こんな奴の排泄物を飲むとは
浮浪者の子種がし喉にへばりついておる
っぐ
しかし姫を無事に援軍国へお連れすることが使命
それが影鏡様の命なのだ
ぐぐぐ
ややややった
巴様が精液飲んだ
ええいいつまで待たせるのじゃ
イラ
イラ
さっさと済ませぬか
げひー
マジですか
あ、でもさっき怒鳴りそうにやっぱり反撃とか
ワシら雑魚はビビッてしまいますからなぁ
全く忌々しい乞食どもじゃ
巴キサマのせいじゃ
もたもたと
妾が教えてやるこの田舎娘が
よいか言う通りにするのじゃ
…
え?!

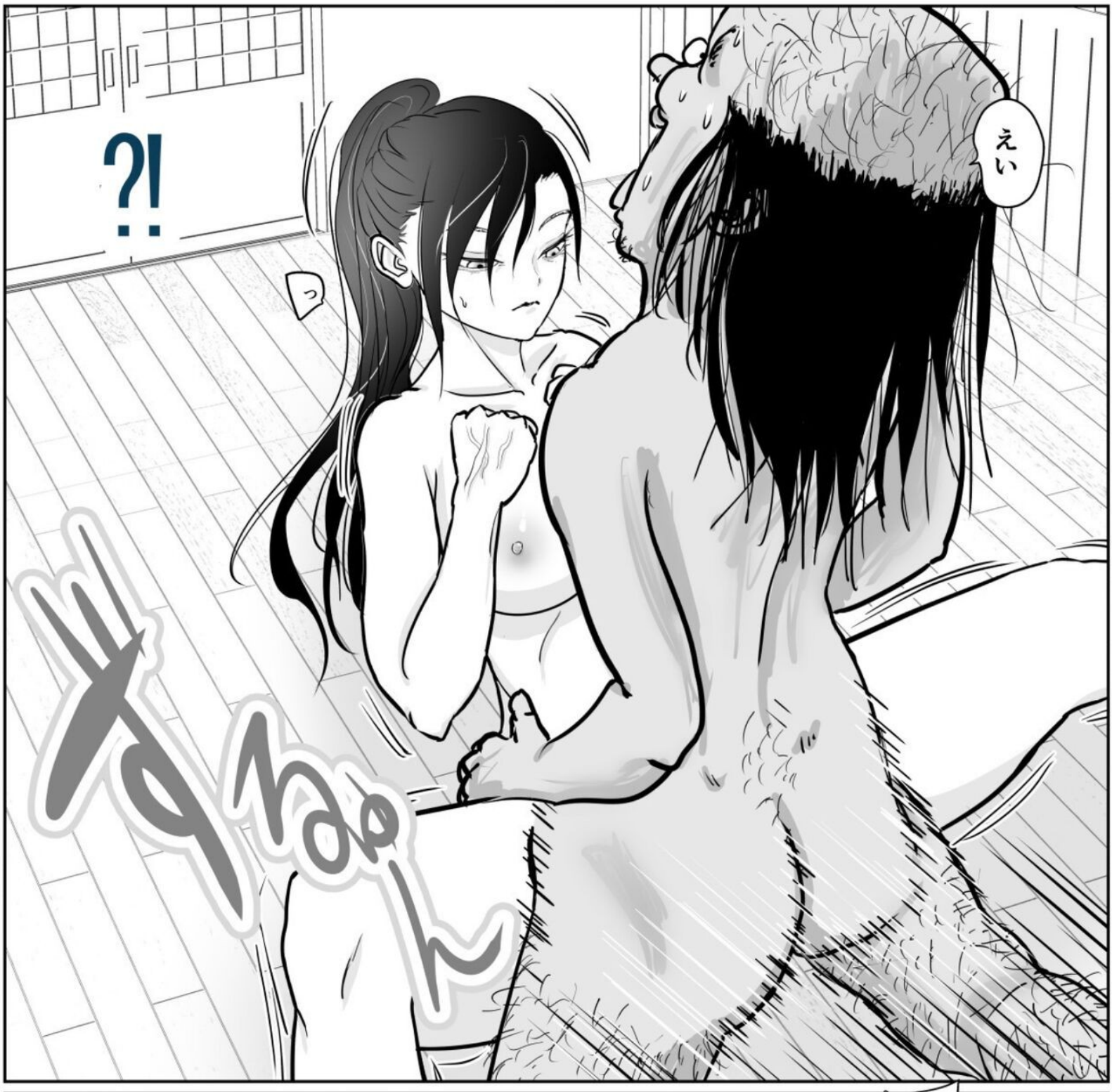

これで…
今晩…
一宿願えぬか？
主君の命令…だ
うひぃ
すげぇ
巴様の
子産み穴じゃぁ
うわぁあ
小さ～
こんな下郎に
わらわの中を開いてやるとは
でへへ
もっと奥まで
見たいでげすな
中に
罠があるかも
知れませんからな
くわばらくわばら
わ、罠など
無いわ
では
雑魚では
決して見れない
巴様の秘部を
誰がこんな奴に
負けるものか

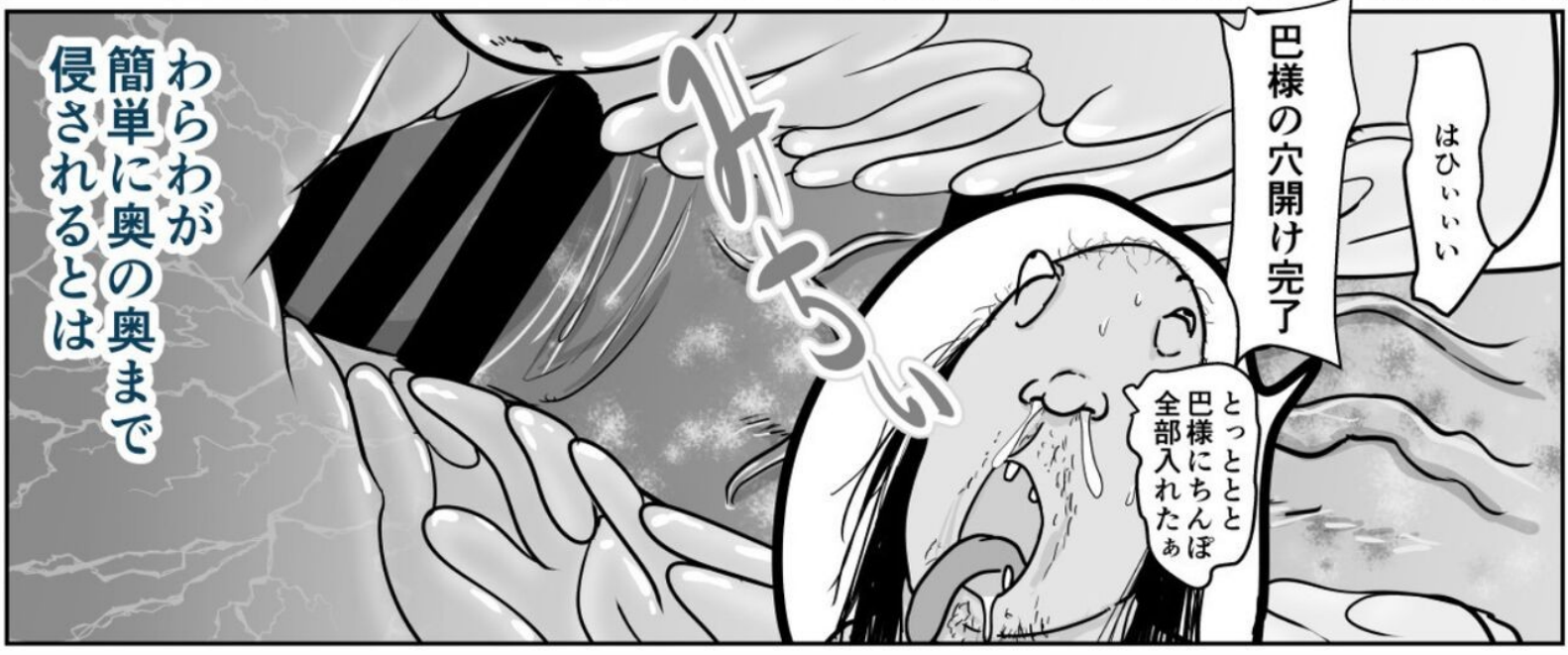

えい
くっ
ふわ
薄桜色じゃあ
くちゅう
わらわの秘密が
いともたやすく
視姦されるとは
何たる恥辱が
おっ
やや
え？
うわ
ひひ姫様
大変じゃ
乙女の証が
ありまするぅっ
ドヒー
こりゃ
どうしたもんか
ちらちら

かまわん
かまわん
そんなもの
うぁ～
破ってしまえ
妾はもう
眠うて
かなわん
でひー
こりゃ
我慢出来ずに
漏らしてしまう
かもしれませぬ
そりゃ
さすがに…
交尾なのだから
当然であろう
好きに注げば
よいじゃろ
下らぬ質問で
妾を煩わせるな
こちらも譲歩
しておるのじゃ
さっさとしろ
うひょー

げひひ
本当に
いいんですかぁ？
にちゃあ
ピク
無論だ
うひょ～
武士～
はひひ
まじか


でっでは
いざ
はー
入れよ
入れよ
くちゅ
うわぁ
小さい穴
この中に
巴様の
生殖器が
あるんだね
あぁ
凄い
巴様の膣内に
ちんぽ
挿入出来るんだぁ
お強い巴様と
一つに
なれるなんて
最高でーす
くそう
入ったぁ
くっ
やったぁ
あぁあぁあ
やっばぁ
ぬちゅ
くちゅっ
わらわの膣内に
初めて入るのが
こんな下衆の生殖器とは
うわ
キモチぃ
あー
まだまだ
入る
ぐっ
これ以上は
許さん
巴様の中に
潜り込んでいくぅ
抵抗してるのに
拡がっちゃうね
は〜
どんどん
入ってますよ
ぬちゅ
ぬちゅっ
ぬちゅっ

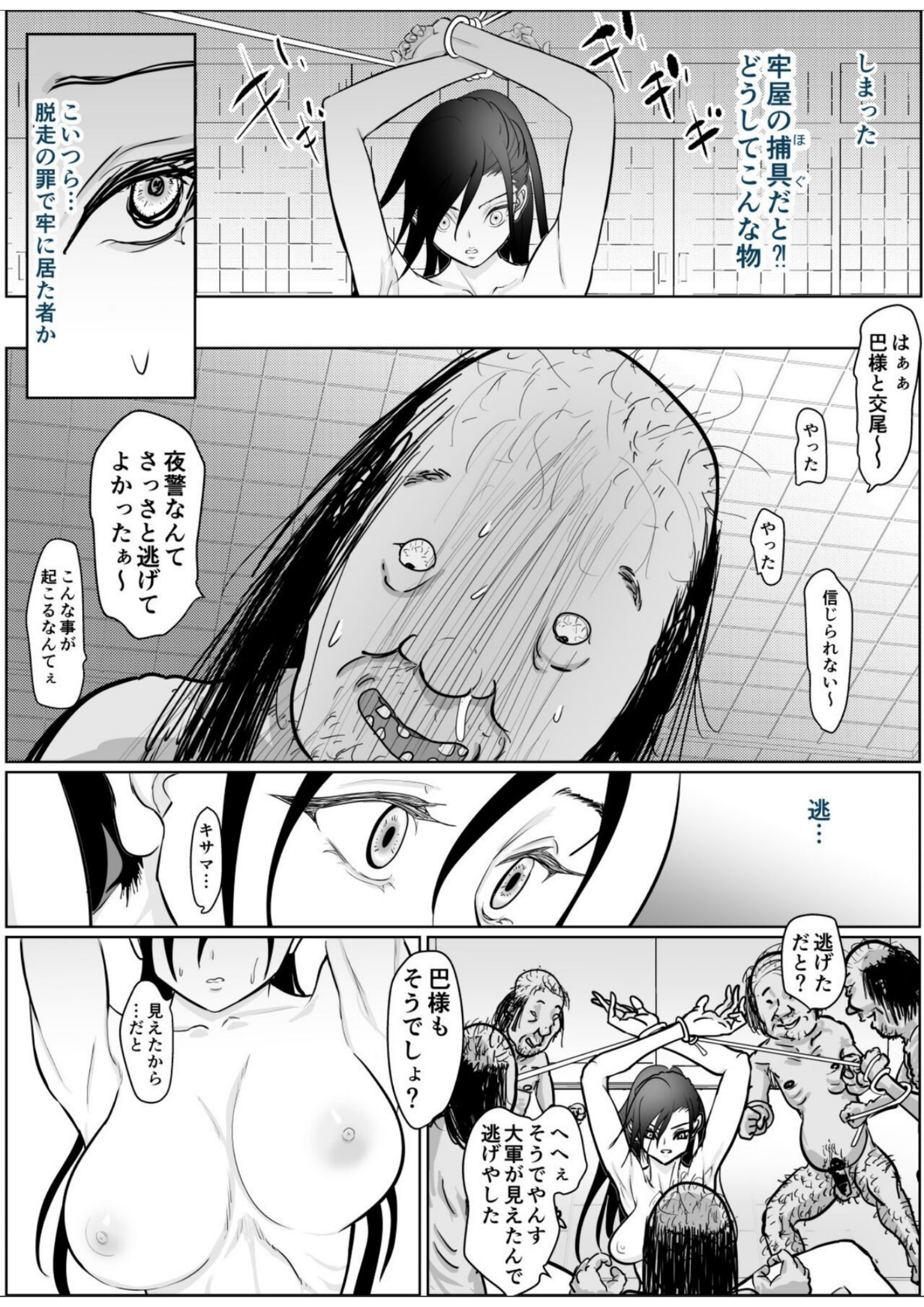

?!
えい
すりすり


はひぃぃぃ
巴様の穴開け完了
とっととと
巴様にちんぽ
全部入れたぁ
ずっぷり
わらわが
簡単に奥の奥まで
侵されるとは

もう一回
もう一回
じゅるん
ぐっ
はぁああ
しゅみませぇん
巴しゃまぁ
思いっきり膣奥まで
ちんぽ突っ込むの
気持ち良過ぎますゆえ
くそぉ
小心者の分際で
無礼な振る舞いをぉ
貴…様
悔しいっ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ギッ
ん――――
あ～
やば
チュウしちゃお
ちゅうちゅう
んぐぅ

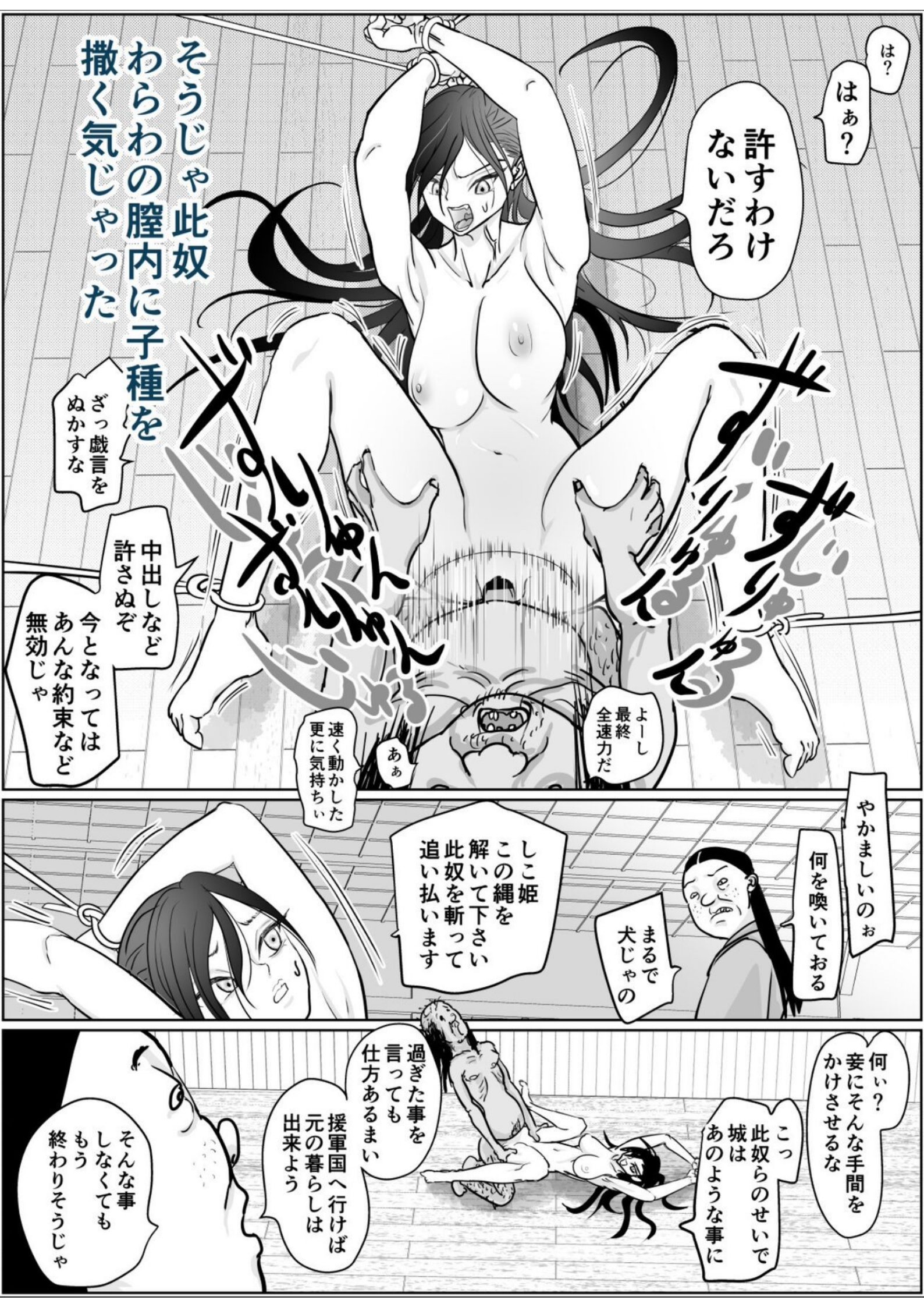
巴様の女の子の所
気持ちよくって
気持ちよくって
ずるるるるぅ
わらわは
こんな所で何をしておるのじゃ
皆は戦っているのに
こんな卑しい浮浪者に
大事な穴をほじくられているとは
ずりゅん
ずるるん
切腹ものの恥辱
巴様ぁ～
巴様ぁ～
巴様の強力な締め付けと
戦っております～
この生殖器
きもちぃよぉ
はぁ
にゅるにゅる
ぐっ

ぬちゃあ
はひぃ
ちんぽ溶けるぅ
あーー
カリが気持ち良過ぎて痺れてるぅ
最強巴様おまんこもスゴすぎ
あの巴様と粘膜で密着してるんだぁ
夫婦になれたね
浮浪者が巴様の交尾相手に立身出世だぁ
想像してた万倍気持ちぃ
ひょい
無礼者っ
気は済んだであろう早く離れろ
はひぃ
極楽じゃぁ
おっ俺も
ワシもこの身体に注ぎたい
おい早く出して代われよぉ
げひひ
ぬっ
?!
ニュル!


しまった
牢屋の捕具だと?!
どうしてこんな物
こいつら…
脱走の罪で牢に居た者か
はぁぁ
巴様と交尾～
やった
やった
信じられない～
夜警なんて
さっさと逃げて
よかったぁ～
こんな事が
起こるなんてぇ
逃…
キサマ…
逃げた
だと?
巴様も
そうでしょ?
へへぇ
そうでやんす
大軍が見えたんで
逃げやした
見えたから
…だと

キサマら
いつ逃げた?
てひひ
巴様出てきた時
追っ手かと思って
焦りましたわ
でひひ
仕事さぼったら
怒られますもんね
あそこ
夜警で
ラッキー
門はどうした?
アレあの後
どうなったんですかね?
やっても
無駄だ
そりゃ皆逃げたわい
キッ
キサマぁ
キサマらのせいでぇ
この恥知らずが
殺してやる

うげ
ぼキ
やべぇ
ははは
柱にぃ
ひぃ
ぼキ
キサマ等
全員八つ裂きに
してやる
ふぐっ
えい
やるぞ〜
げひひ
やるぞ〜
巴様の肉穴に
精子泳がせるぞ〜
最強の巴様を
浮浪者が
膨らませるんじゃ
でひひ
巴様の
生殖器に
子種
根付かせるぅ
キサマ
止めぬか
もう終いじゃ
この痴れ者が
は？
は？


は？
はぁ？
許すわけないだろ
そうじゃ此奴わらわの膣内に子種を撒く気じゃった
ざっ戯言をぬかすな
中出しなど許さぬぞ
今となってはあんな約束など無効じゃ
速く動かした更に気持ちぃ
あぁ
よーし最終全速力だ
やかましいのぉ
何を喚いておる
まるで犬じゃの
しこ姫この縄を解いて下さい此奴を斬って追い払います
何ぃ？妾にそんな手間をかけさせるな
こっ此奴らのせいで城はあのような事に
過ぎた事を言っても仕方あるまい
援軍国へ行けば元の暮らしは出来よう
そんな事しなくてももう終わりそうじゃ

好きに注がせてやれ
うぁ
孕んだら産むか堕ろすかすればよかろう
あ――
あ――
何
りゅるるる
りゅるるる

何い！
ずるるん
ズズズズ
何を言ってるんだ
こんな破滅の元凶に約束など無用
膣内射精など世迷い事を
何だとこのバカ女があ
キサマ離れぬか！
このズルズル感気持ち良過ぎる
おじさんが年功序列を教えますぞ
ちんぽでしか考えられなくなる
えい
えい
キサマ…調子に乗るなよ
ずるるる

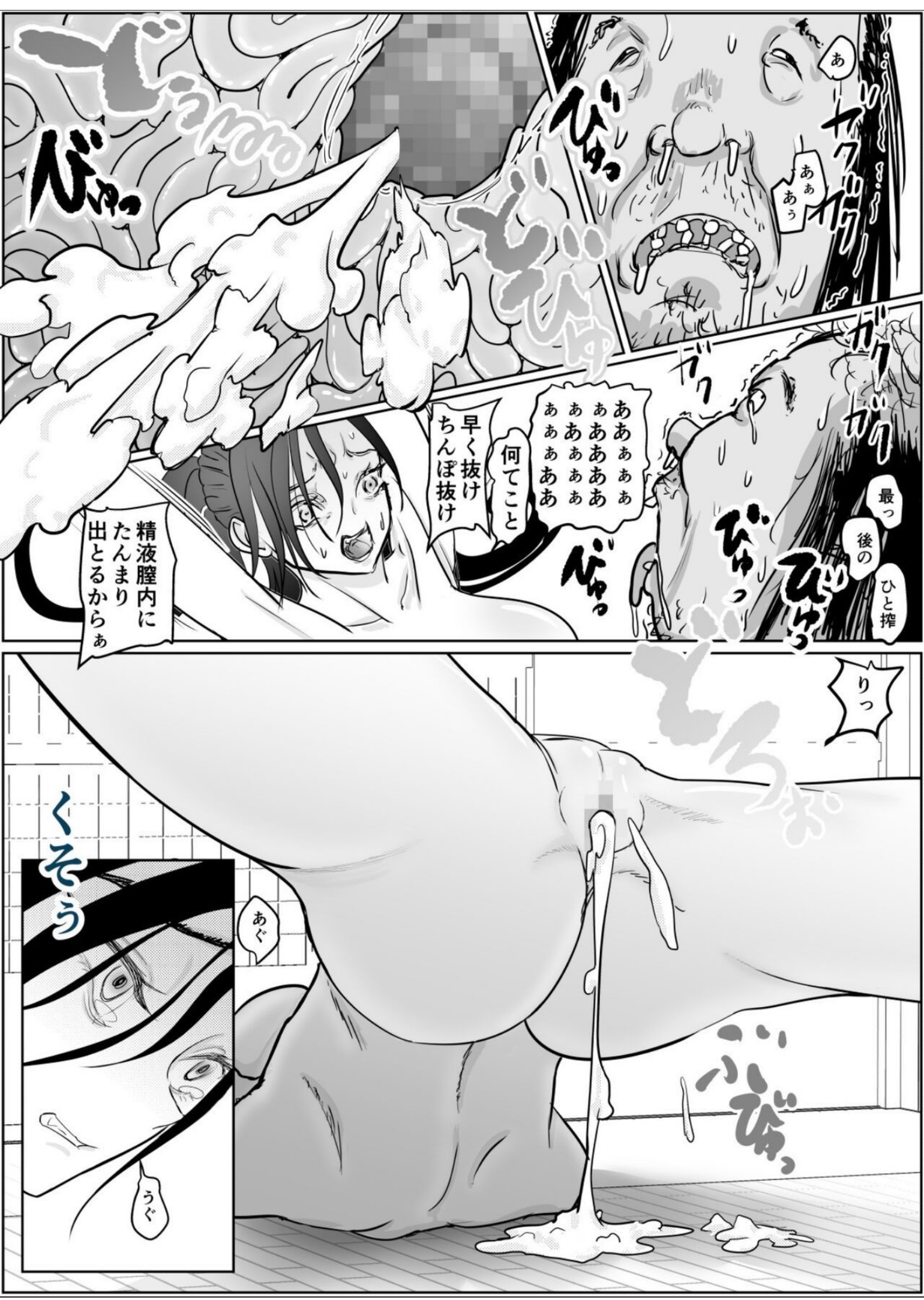
でひひ
恐怖心0で挿入出来る強気おまんこ最高ぉ
これ全部挿入しちゃいますぞ～
いきますぞ～
はめ
はめ
なっ?!
キサマ
この私が
戦場で
何と恐れられてい
くそう
ずゅるっ
るぐっ
えい

くそぅ
クソクソ
クソぉ
伴侶にしか
許されぬ深さまで
気安く
奥まで
来るでない
キサマの様な
下賤な者が
触れてよい所
ではない
ささまなどに
掻き回されるとか
吐き気がするわ
ぶるぶる
ギチ
は～～
これこれ
子作り前提の
挿入は格別じゃぁ
こいつ本当に
本当に妾の膣内に
精子を泳がせる気？
ぶるる
天と地ほどある格差が
コイツの種付け欲
増大させているんだ
調子に
乗りおって
くそぉ
ギチ
本当に
守りたい人は
他に居るのに
クズ女の為に
こんな
小心者の
雑魚乞食に
ち…
膣内射精など
ぐろろろ
はぁあ
頭
おかしくなる
気持ッちぃ～
竹やり訓練の時に
怒られまくった
突きの成果を
いざッ
よし
もう
よいであろう
さっさと
ちんぽを
抜くのじゃ

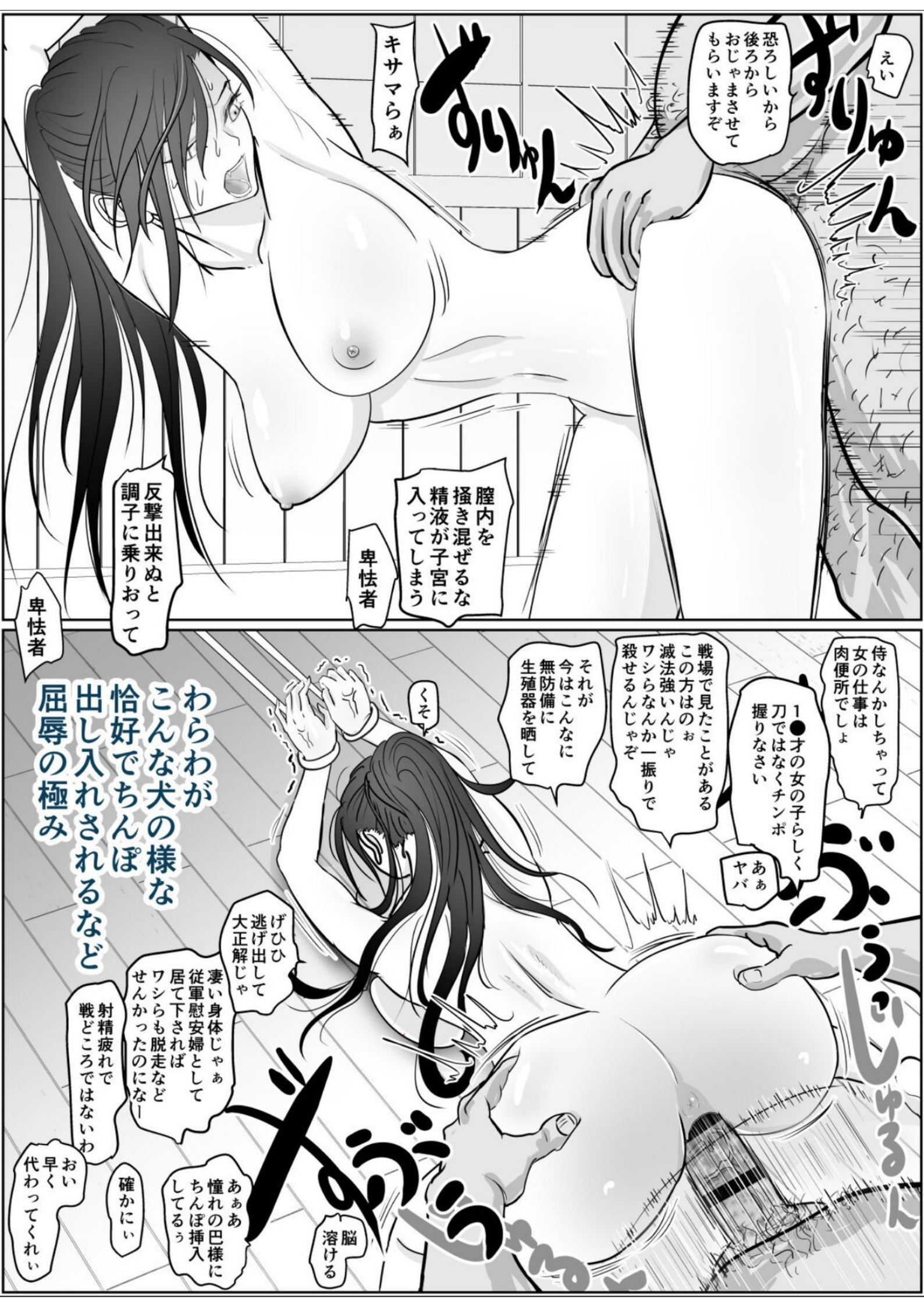
えい
止めんか！
キサマ
これ以上の狼藉は
まかりならんぞ
巴様を肉便器に
出来るなんて
果報者じゃぁ
天下取りより
ムズそう
あぁ
最高の
入れ心地
奥近～
膣奥
止めぬか
ずりゅ
ん
コイツ
！
はぁ
いくら巴様でも
かよわい膣内に
精液注がれたら
妊娠しちゃうのかな
んぐうっ
待て待て待て
そんな事は
絶対にダメじゃ
キサマ
しらばくれよって
神聖な行為を
遊びでするなど
こんな下衆にぃ
くそぉお！
キサマの子など
遺して何になる
お前みたいな奴の
慰みものに
なるなんて
絶対に嫌じゃ
成敗するぞ
今すぐ
膣内から
退散しろ

くぅ
嫌じゃもう入ってくるな
精子奥に出す為に入ってきてる
おぞましい
嫌ぁっ
無様な肉便器になるの嫌
駄目じゃ駄目じゃ
巴様ぁ
あ
巴様の卵ここだね？
巴様いいね？
ぐちゅう
ぐるるるる
！
あああぁぁぁ
ぁぁぁぁぁ
ぁぁあっぁ
ぁぁぁぁっ
浮浪者に孕まされる
最強なのに
絶対出される
絶対出される
それ無理
それ無理
こんな屈辱
絶対無理
巴様の穴大好き
悔しいっ
嫌じゃ嫌じゃ
聞け聞け！
雑魚種で孕むの嫌ッ
この深さ
駄目
影鏡様の為に修行してきたのに
悔しいっ
種付け駄目じゃ
そうだまた飲んでやるな？
あんなバカ女の為に
妊娠嫌っ
妊娠嫌っ
最悪最悪
無様なぼて腹で影鏡様に会いたくない
妊娠する絶対妊娠する
ぐるん
ぐるるるるん
あ
あ
やば
巴様に中出し出来る？
ちんぽ全部きもちぃ
あ出る出る
あの巴様に
精子出る

影鏡様の仇(かたき)に
孕まされるなど
絶対に嫌ぁっ！
ビクッ
ビクッ
うっ
いぐ
びゅるるる
ビクッ
びゅっ
びゅるるる

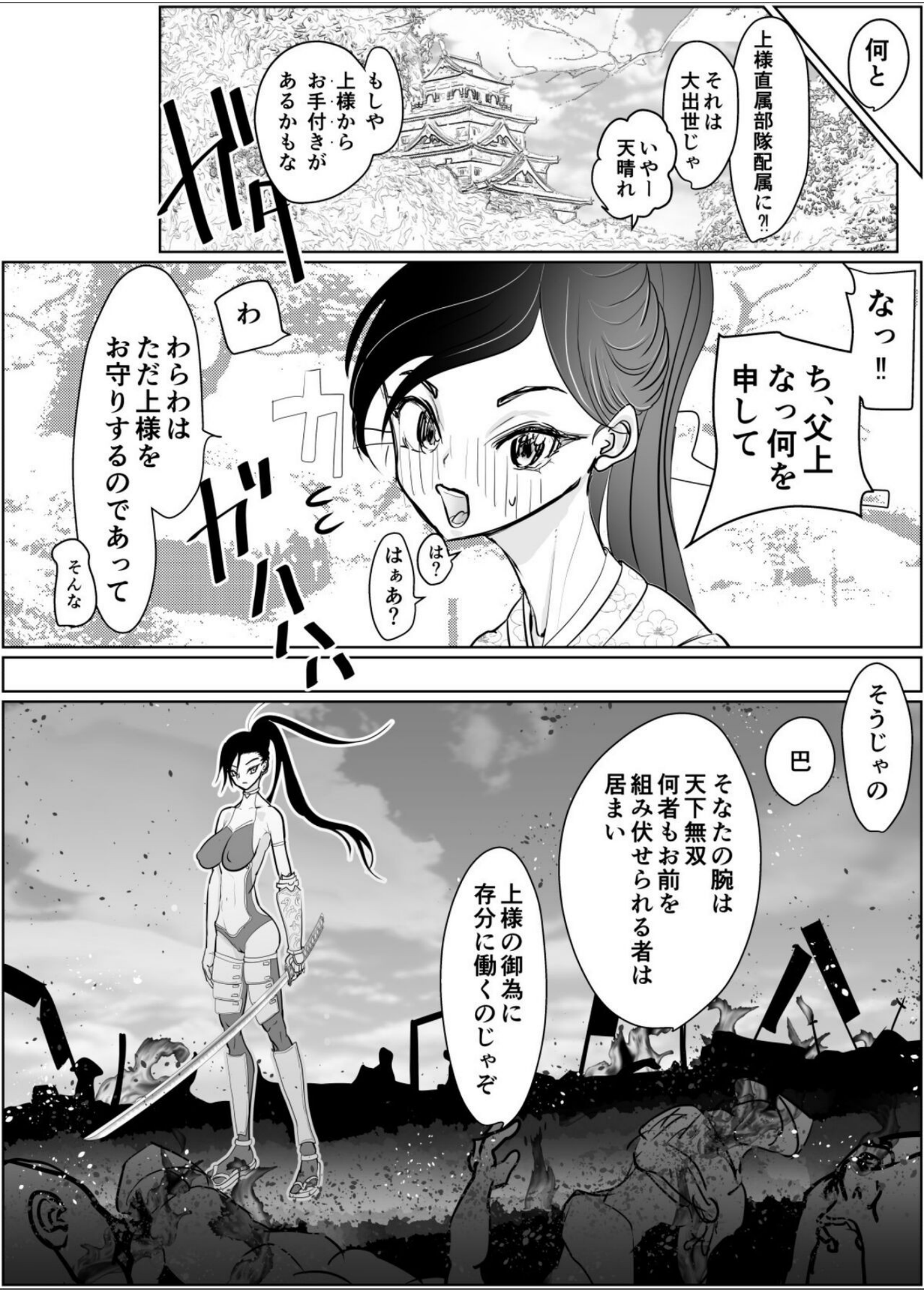

あ
あぁあぅ
ガクガク
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ

ごぷっ
ぶりぶりぶりっ
うお
本当にいいんだぁ
すげぇ身体
吉原のブスも拒否するわしがいいの？
げひひ
都でもこんないい女居ねぇ
おで巴様で自慰するの好きだったんだ


えい
恐ろしいから後ろからおじゃまさせてもらいますぞ
ずりゅん
キサマらぁ
膣内を掻き混ぜるな精液が子宮に入ってしまう
卑怯者
反撃出来ぬと調子に乗りおって
卑怯者
わらわがこんな犬の様な恰好でちんぽ出し入れされるなど屈辱の極み
侍なんかしちゃって女の仕事は肉便所でしょ
1●才の女の子らしく刀ではなくチンポ握りなさい
あぁヤバ
戦場で見たことがあるこの方はのぉ滅法強いんじゃワシらなんか一振りで殺せるんじゃぞ
それが今はこんなに無防備に生殖器を晒して
くそ
ぐぅじゅるん
げひひ逃げ出して大正解じゃ凄い身体じゃぁ従軍慰安婦として居て下さればワシらも脱走などせんかったのになー
射精疲れで戦どころではないわ
おい早く代わってくれぃ
確かにぃ
あぁあ憧れの巴様にちんぽ挿入してるぅ
脳溶ける
ぐぅじゅるん

巴様の穴
極楽じゃぁ
ちんぽ
出し入れするたびに
もっと深くに
お邪魔したく
なりますわい
あっ
あ〜〜
あ〜〜
あ〜〜
このざらざら
何ぃ？
カリが
コリコリ
引っ掛かる
ずぶぅぅぅ
えい
くぁ〜
これこれ
ああぁぁ
あっぁ
くそぅ！
ちんぽ
一番深い所に
挿すでない
ずりゅう
ずりゅう
ずりゅう
コレ嫌いじゃ
膣奥ゴリゴリ
突かれるたびに
屈辱が増す
キサマの様な下郎が
わらわの一番の秘密を
知るなんて
これちんぽ
奥まで入って
精子強制的に
子作り部屋に
注がれてしまう
あ――――
絶対もう
自制利かない
であろう
ちんぽで判断
してはならん
射精は我慢
するのじゃ
嫌いな男に
精液注がれる
悔しさ
もう味わいたくない
悔しすぎて
気が狂いそうじゃ

あぁ出ちゃう
ぐ
じゅる
ぶるぶるぶる
あ
あ
出る出る
ガクガク
あ——
あ～～飛んでるの分かる
久しぶりに精液飛んだぁ
さすが巴様の膣じゃ
くそっ
びるるるるる
びるるるっ
びゅびゅ
びるるるる
びゅる
ぶっ


何と
上様直属部隊配属に?!
それは大出世じゃ
いやー天晴れ
もしや上様からお手付きがあるかもな
ガハハ
なっ!!
ち、父上なっ何を申して
わ
わらわはただ上様をお守りするのであって
そんな
は?
はぁあ?
そうじゃの
巴
そなたの腕は天下無双何者もお前を組み伏せられる者は居まい
上様の御為に存分に働くのじゃぞ

先の戦は大勝利じゃ
今宵は無礼講じゃ大いに飲もう
ちびちび
おい巴進んでおらんな
今日の主役がどうした
あ
酒は初めてか？
ん？
いや顔が赤いなさてはお主もう呑んできたな？
え？いえ
あ…はい
ははは刀も速いが呑むのも早いとはな
さすが余の惚れ込んだ女じゃ
あは
影鏡様わらわは貴方の為なら

ザアアア
はー
今日も雨じゃ
外は歩けんの
今日も
無礼講で交尾
ですぞ
巴様ぁ
あーー
また出る
どうすればぁ
援軍は
ここに来るのかえ?
ぐっ
やかましい
この醜悪な
卑怯者め
好きなだけ
注げばよかろう
あ
出る出る
どうせ…
もう無駄じゃ
ぶびゅ
じゅぶ